

被扶養者現況届

事業所名 JA〇〇

被保険者氏名 健保 花子

扶養認定対象者1名につき1枚記入してください。(出生による扶養は原則、添付不要)
 生計維持関係が確認できない場合は認定できません。「1. 扶養する理由について」は詳細に記入してください。
 記入漏れのないよう、ご留意ください。

下記の記入事項は事実と相違ありません。
 なお、記入事項が事実と異なる場合は、被扶養者の資格を
 削除または取消しされることについて、一切異議申し立てい
 たしません。

※「子」の場合、長男・長女等、具体的に記入してください。

認定対象者氏名	健保 二郎	続柄	長男	被保険者に配偶者はいますか	(有)無 ※有の場合、配偶者の年間収入 2,650,000円
1. 扶養する理由について(詳細に記入) <small>認定対象者の配偶者の有無や未婚、離婚、死別、養育費等、また生計維持していることを詳細にご記入ください。 【記入例】 (例1)同居の母●●について、父が亡くなり、被扶養者申請する。遺族年金は〇〇円となる予定。兄がいるが遠方であり、母への仕送りもなく、私が生計維持している。(例2)離婚により、子●●の親権者となり、戸籍も異動し、扶養している。元夫からの養育費は月〇円。児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成の申請中。</small>				7. 認定対象者の住居の状況等について(該当するものに○) (1) 持家(誰の名義か: 夫)) (2) 借家(誰が賃貸料を支払っているか:)) (3) その他()) ●水道光熱費の支払いは誰か(夫))	
長男・二郎(小学3年生)は、今まで夫(自営業)とともに国民健康保険に加入していたが、夫の収入は不安定で少なく、また、私の方が収入が多く、家計へも私が大半を支出しており、長男について、私が生計を維持しているため被扶養者申請する。				8. 収入状況について (1) 雇用保険(失業等給付)について(該当するものに○) (イ)受給予定 (日額 _____ 円・不明) ※雇用保険受給資格者証が発行されていれば写しを添付する。 (ロ)受給中 (日額 _____ 円) ※雇用保険受給資格者証の両面(写)を添付する。 (ハ)延長申請(予定) (理由: 出産・傷病・その他(_____)) ※受給期間延長通知書(写)を添付する。 (ニ)受給しない (就労しないため受給権を放棄する) ※法第4条第3項不該当の証明書(写)を添付する。 (ホ)受給資格がない (未加入・被保険者期間1年未満) ※給与明細等の写しを添付する。 ※雇用保険資格喪失確認通知書等の写しを添付する。	
2. 最終の職業などについて (1) 最終の職業または勤務先 (_____)) (2) 退職年月日及び勤続年数 (_____ 年 _____ 月 _____ 日 / _____ 年 _____ 月)) (3) 健康保険の種類 (協会けんぽ・共済組合・健保組合・ _____)) (4) 退職の理由 (自己都合・会社都合・その他 _____))				(2) パート収入・利子収入・賃貸収入・農業収入など(該当するものに○) (イ)なし (ロ)あり (パート・アルバイト・利子・賃貸・農業・その他(_____))) 月額 _____ 円 / 年額 _____ 円 ※給与明細直近3カ月分や直近の確定申告書(損益計算書含む)等を添付する。	
3. 現在加入している健康保険の種類について(該当するものに○) (1) 国民健康保険 (2) 協会けんぽ (3) 健保・共済組合等の健康保険 ※任意継続被保険者も含める。 (名称: _____)) (4) 未加入(理由: _____))				(3) 健康保険の傷病手当金・出産手当金もしくは労災保険(休業補償給付)の受給の有無と金額等(該当するものに○) (イ)ない (ロ)申請中 (ハ)ある (日額 _____ 円 / 受給期間: _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日) (健保・共済組合・労基署等の名称: _____)) ※支給決定通知書の写しを添付する。	
4. 事業所からの扶養手当について(該当するものに○) (1) 受給している (_____ 年 _____ 月より)) (2) 受給できる予定 (_____ 年 _____ 月より)) (3) 受給できない(理由: _____))				(4) 年金の種類および金額について(該当するものに○、複数回答可) (イ)老齢年金 受給年額 _____ 円 (ロ)遺族年金 受給年額 _____ 円 (ハ)障害年金 受給年額 _____ 円 (ニ)個人年金 受給年額 _____ 円 (ホ)農業者年金 受給年額 _____ 円 (ヘ)労災年金 受給年額 _____ 円 (ト)その他(_____) 受給年額 _____ 円 ※支給通知書等、年金額等が確認できるものの写しを添付する。	
5. 所得税法上の扶養親族について(該当するものに○) (1) なっている (2) なっていない (3) なる予定					
6. 認定対象者の生活費を被保険者がどの程度負担していますか(該当するものに○) (1) 全部 (2) 大半 (3) 約半分 (4) 半分以下					

※年金を受給している場合(直近の支給通知書の写、または年金額改定通知書の写) ※学生(専門学校・予備校を含む)の場合(学生証の写、または在学証明書)
 ※退職後雇用保険を受給しない場合(失業給付の受給権を放棄した証明の写) ※別居の場合は、誰から誰へ、いつ、いくら仕送り(送金)したか確認できるものの写し
 ◎必要添付書類については、各事業所のご担当者様にご確認ください。また、生計維持関係を確認するため、追加の添付書類をご提出いただく場合もあります。